

文芸くらがわ

短歌

【岩瀬短歌会】

垂麻色に刈田ひろぐる帰りみち秋天た
かく雲ひとつ浮く
瀧井幸子

自転車に転びし砂利道いまはなし白い
アスファルト閑散として
大久保富美江

秋の夜の一日おきの美酒一合ほろほろ
ときて涙ぐましも
泉三郎

小春日和落葉焚きいるかたわらに口
ゼットとなるたんぼぼが見ゆ
大関登志子

正月にうから来る日を楽しみに温き日
えらびふとん干しする
小林美瑛子

古枯らしにおよび腰なる老犬^{いぬ}引きて傘
寿の友が颯爽とゆく
川崎邦子

主なき生家に咲きし萩の花妣を偲びて
束ねておきぬ
仁平千代

加波山の頂に引く薄雲に光源氏の和歌
よみがえる
浜野和操

八十路なれど「ローマの休日」なほ今
も心躍らせ見入りてをりぬ
鈴木英雄

米不足補うように藁^{わら}の高く伸びたち稲
穂が揺れる
児玉廣子

喜寿むかえ膝の痛みはあるけれど「ケ
セラセラ」と生きております
渡辺しな子

背をまるめ葱に土寄すヒデさんに影
くつきりと寄り添いており
瀧田勇

大鉢に野趣にあふれる小花あり微風を
かりて可憐にゆれる
久保悦子

深秋のまだ明けやらぬ空のもと反射た
すきをかけウオーキング
雨谷友子

ひこばへを稔らせて収穫するといふ日
本の米作のびしろゆたか
広沢日出子

【一般投稿】

御師より幕引きしますと便りあり交わ
り失して心空しく
長堀勉

俚謡

【さくら俚謡会】

梅が咲いても少子化悩む唄う鶯集まら
ぬ
山もみじ

俺も財布も風邪ひく寒さ少し熱めの風
呂にする
花野しぐれ

春寒料峭^{はるふりやうせう}我が家のぬくみおでん爛酒早
寝かな
みーちゃん

真壁女雛が窓辺に並びお客御出でと待
ち侘びる
田哲人

俳句

【一般投稿】

傘寿や背筋のぼして夢をもつ
長堀芳江

加波山の雲に乗りたし冬日和
浅賀順子

スタッフ・入居利用者様 募集中



私たちと一緒に働きませんか？



社会福祉法人 特別養護老人ホーム上の原 ☎0296-71-6888

〒309-1226 茨城県桜川市上野原地新田154-4 担当：益子



社会福祉法人 上の原学園 ☎0296-75-2509

〒309-1226 茨城県桜川市上野原地新田159-1 担当：杉山・宮田